

# 多治見高校自然科学トピックス

## -日本生態学会にて審査員特別賞受賞！-

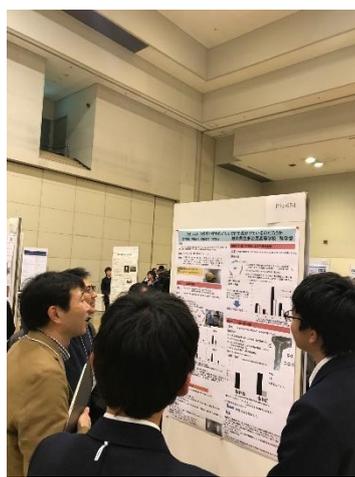
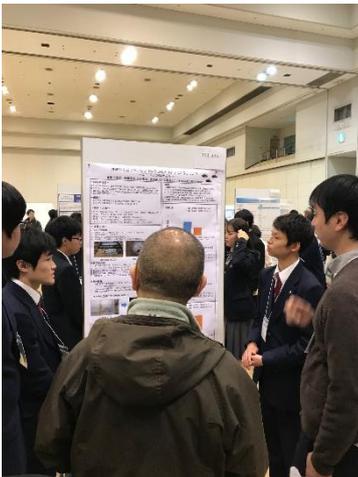
平成31年3月18日

自然科学コースと科学部で、動物の生態の研究を行っているグループが日本生態学会第66回全国大会（神戸市）にてポスター発表を行いました。発表者とテーマは以下の通りです。

- 春日井翔大、柴田陽斗、水野皓太、阿部真人\*、佐賀達矢「外敵から逃げたゴキブリはその後どのようにふるまうか？」\*研究協力者の理化学研究所の研究员さん
- 志津隆行、中島岳人、下総郁子、佐賀達矢「カタツムリはどうやって餌をさがしている？」



どちらの発表も、多くの高校生、研究者の方に聞きに来ていただけました。実験によって得られた結果から考えられる限りの考察をして発表に臨みましたが、様々な視点から鋭い指摘をいただきました。また、研究を発展させるアイデアについても一緒に議論してくださった方もいて、とても有意義な時間を過ごせました。ゴキブリの研究発表は、審査員特別賞を受賞することもできました。



写真：大学の先生方から鋭い突っ込みを受けている様子



審査員特別賞をいただきました

今回発表した研究は、中谷科学技術振興財団と日本科学協会（笹川科学研究助成）の支援を受けて行われました。ありがとうございました。

担当：佐賀達矢

# 表彰状

第66回日本生態学会大会高校生ポスター賞  
審査員特別賞

演題 外敵から逃げたゴキブリは  
その後どのようにふるまうか? (PH-46)

発表者 \*春日井 翔大, 柴田 陽斗, 水  
野 皓太, 中島 岳人, 志津 隆行, 阿部  
真人, 佐賀 達矢 (岐阜県立多治見高等  
学校)

あなたの研究発表は、第66回日本生態学会大会  
(神戸大会)高校生ポスター発表会において、研究内容、  
発表技術がともに優れていると評価されましたので、  
ここに表彰します。今後のさらなる活躍を期待します。

2019年3月17日  
一般社団法人 日本生態学会

会長 占部 城太郎

